

## 令和2年度第2回一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会 会議録

- 1 会議名 令和2年度第2回一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会
- 2 開催日時 令和3年3月10日（水）午後2時から3時30分まで
- 3 開催場所 一関市藤沢市民センター 大会議室
- 4 出席者
  - (1) 委員 伊藤勉委員（会長）、小野寺義喜委員、三浦より子委員、千葉正志委員
  - (2) 事務局 佐川伸藤沢支所長、阿部徹藤沢支所次長兼地域振興課長  
西洋知地域協働係長、小野寺嘉奈主査
  - (3) オブザーバー（指定管理者） 株式会社一関ケーブルネットワーク 社員  
川崎智弘副部長、藤根和弘主任

### 5 議 題

- (1) 令和2年度放送番組の実績（令和2年12月末現在）について（報告）
- (2) 令和3年度放送番組の内容について（協議）
- (3) その他

### 6 公開、非公開の別 公開

### 7 傍聴者の数 1名

### 8 挨拶

#### (1) 会長挨拶

コロナ禍の中、いろいろな行事が中止となっています。その中で、放送というものは非常に重要な役割を担っており、今日は是非、慎重な審議をし、よりよい藤沢情報通信センターの放送となるよう、よろしくお願いします。

#### (2) 藤沢支所長挨拶

本日は、本年度2回目の審議会で、令和2年度放送実績と令和3年度の放送内容についてご審議をいただきます。本年度は、先ほどの会長の挨拶にもありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、藤沢地域内でも、大小様々なイベントが中止、縮小となったところでもあります。その中にあっても、産業福祉文化祭や藤沢市民劇場は、感染症対策を十分に取り入れながら藤沢地域の文化活動の灯火を途切れさせることなく、無事開催できたことに安堵しています。

これらのイベントの周知については、告知放送や藤沢テレビのデータ放送が活用されており、その中でコロナ対策としての3密の回避、マスクの着用、手指の消毒などの感染症予防対策を随時放送していることから、初期の段階から市民の皆様にはコロナ対策が身近になったのではないかなと思っています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図るため、全国でワクチン接種が行われています。接種スケジュールなどについては、3月1日号の市の広報でも紹介していますが、現在、市ではワクチンが届き次第、速やかに市民の皆さんに接種を開始できるよう準備を進めています。このワクチン接種により、ウイルスに対する免疫ができ、感染症にかかりにくく、あるいはかかっても重症化しにくくなるというものであり、この取組が功を奏して1日も早く元の日常生活に戻ることを期待するものであります。

さて、第1回目の審議会では告知放送の臨時放送の始まり方についてご意見をいただいたところですが、この件については支所内で検討させていただきました。びっくりしてしまうというご意見があったわけですが、始まりの部分を担当課からのお知らせですと改善しましたので報告をさせていただきます。このように、普段、聞き慣れた放送でも、ご指摘をいただいて初めて気づくということがあります。よりよい放送内容に加え、情報伝達のクオリティの向上を図っていきたいと考えています。今後においても、他に誇るべき藤沢地域の情報通信環境を、指定管理者と共にしっかりと管理運営していくためにも、皆様からの忌憚のない活発なご意見をご期待申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

## 9 審議内容

### (1) 令和2年度放送番組の実績（令和2年12月末現在）について

事務局が、資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答、意見交換。

委員 藤沢情報通信センター加入状況推移について、令和2年度の告知放送加入率が94.7%とあるが、何を分母にして94.7%の2,341人となっているのか。

事務局 住民基本台帳の世帯数で、藤沢地域は2,807世帯である。

委員 その場合、企業などはどのように扱うのか。

事務局 あくまでも一般世帯のみで、事業所は除いている。資料のもう一部、別添の資料の2ページ目の真ん中に事業所と一般世帯の加入合計がそれぞれ記載されているので、ご覧いただきたい。

委員 加入率94.7%だが、加入できない理由を把握しているのであれば教えていただきたい。

事務局 加入されていない方は、テレビのケーブルを引かなくても、テレビを見られる地区が若干だがあり、加入していないのではないかと考えている。

### (2) 令和3年度放送番組の内容について

事務局が、資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答、意見交換。

委員 臨時放送は、担当課を放送の冒頭で話すということで分かったのだが、消防

の臨時放送が急に鳴るとびっくりするので、例えば、消防のチャイムと、市のチャイムというように区別できるチャイムを事前に流した方がいいと思う。

事務局 チャイムを鳴らすことができるかどうかは、分署と協議をした上で、次回お知らせしたい。

委員 関連があるかわからないが、二点だけ教えてほしい。一点目は、藤沢テレビのデータ放送のお悔やみの欄は、お悔やみ放送依頼書を提出して依頼を受けて放送するという事になっていると思う。一関ケーブルテレビでも全体のデータ放送のお悔やみ欄があるが、一関ケーブルテレビではどのような方法で依頼を受けているのか、お聞きしたい。

それから二点目は、一関ケーブルテレビのデータの中に、ラジオ放送があるが、デジタル処理により3秒ほど遅延がかかるので、時報の時計合わせには向かないとある。技術的にわからないので、よろしければ教えていただきたい。

オブザーバー まず一点目について、お悔やみや慶弔のところだが、基本的には藤沢地域と変わらない。本庁と支所からお悔やみの情報をいただいている。藤沢地域と同じように放送の許可を得た内容だけである。藤沢地域は、火葬の日程を別にいただいていると思うが、ほかの地域ではそこまでの情報を得るということはない。その点が、藤沢地域と他の地域の違いとなる。

ラジオ放送の遅延に関して、データ放送の仕組みとして、ラジオをまずこちらで受信し、受信したラジオの情報をインターネット上のサーバーの中に一度、格納して、そこからまたテレビ放送に持っていくというやり方である。3秒という遅延は結構大きく、時計がずれているという問合せが何回かあるので、時間合わせとしてはあてにしないでくださいということをお知らせしている。

委員 実績件数を見させていただいても、防災・火災に関しての件数が242件ということで、非常に多く放送されているように思う。防災・火災メールに関してだけでなく、西口地域なのだが、山間部なのでケーブルにかかっている支障木が所々見受けられる。定期的に巡回していただいて、万が一のことが起こる前に処理できるような巡回や管理の仕方ができないものなのか。

事務局 8日の午後に業者の方と町内を回った。西口地区に関しては、藤崎線沿いの大の田バス停付近に竹がかかっているところがあり、業者と確認している。東北電力の線も関係するので、先に東北電力で赤いテープを巻いているところもあった。ほかの地区も8日に少し回って、今月中に対応できる部分に対応し、新年度になってから、対応できるところは順次やっていきたいと思っている。それから、今年は雪のせいか、線に蔓がたくさん絡んで、その上に雪が降って、

線がたるんでいるところが何箇所かあった。支所に連絡があった箇所は、月曜日に見て回って、とりあえず、伐採する方向で今準備をしている。

委員 支所に連絡があったというのは、個人から連絡があるのか。それとも、区長や自治会長を通して連絡があるのか。

事務局 いろいろである。区長から連絡があるときもあるし、個人からあるときもある。特に統一する考えはない。発見された方から、すぐ連絡をもらうのが一番いいかなと思っている。

委員 告知放送について、おやすみ放送の中にお悔やみの放送がある、時々、臨時放送的に日中に放送している時があるが、これはなぜか。

事務局 土日のお悔やみは、午後5時の臨時放送である。おやすみ番組以外に、お悔やみ放送をしているのは、土日祭日に届け出があったもののうち、葬儀の2日前の分だけである。それ以外はしていない。

委員 パブリックコメントについて、直接の関係はないが、意見集約として、告知放送で流しているところがあるのかどうか。

事務局 パブリックコメントについて、データ放送、あるいは告知放送で今、意見を募集していますということを、計画策定の担当課から依頼されたことは今まではない。

委員 藤沢地域だけでもパブリックコメントを告知放送で流して、意見をたくさん集めるというのはどうかと思う。これは意見である。

#### (4) その他

オブザーバー 特にコロナ対策ということではないが、ちょうど1年前にステイホームということで、外に出られない時にどうしたら良いかと考えた。四季を感じてほしいと考え、4月から今日までニュース番組のシリーズとして風景を3分にまとめて皆さんにお届けする企画を1年間続けた。この映像で皆さんがどう思っているのかという直接的な感想は聞いていないが、故郷を離れた方にも、ユーチューブを通して配信しているので、今の風景というものを見ていただけたかなと思う。

今後、皆さんが一番興味のあるものは、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種のことだと思うので、それを中心に私たちにできることがあればと日々考えながら番組の編成をしている。

平成23年から10年間、藤沢情報通信センターの指定管理者として、担当された藤沢支所の担当者、放送番組審議会の委員の方々から、データ放送や告知放送だけでなく、一関テレビの番組に対してもいろいろご意見をいただいて、や

ってこられた。来年以降も番組提供、地上デジタル11チャンネル、一関市内の情報発信、近隣のケーブルテレビ局、他の放送会社と連携をとりながら、発信していけたらと思っている。藤沢町の情報発信に特化した番組「マンスリーふじさわ」も来年度以降も変わらず継続し、制作、放送する予定なので、これも藤沢町の魅力を内外に、こちらの番組は他の放送局にも発信しているので、一関市だけではなくて内外に発信していけたらと思っている。

最後に、加入促進をどのようにやっていくかについて、我々の会社の持つケーブルテレビの情報網を最大限に活用しながら、まだ町内で利用してされていない方が10%ほどいらっしゃるので、月々の利用料金を支払っても見たいというサービスを提供していければと思っている。

10 担当課 藤沢支所地域振興課